

新たなアジア市場へ



創業47年の株式会社山本金属製作所は、微細・薄肉・複雑輪郭形状加工を伴う精密加工技術、材料分析、評価技術をコア技術とし、計測機器や評価手法の開発を自社で行っている。

長年、切削加工を軸に加工に関する研究開発を行ってきたが、06年から研究開発のさらなる深化のため、材料そのものについての研究にも取り組み始めた。その一環として、高性能と経済性、優れた操作性をそなえた「金属疲労強度試験機」を開発した。

日本国内では、長年の材料分野

の研究実績から、同種試験機の市場ニーズが大幅に伸びる可能性は少ないと考えられる。そこで、山本金属製作所はこれから金属材料の研究が進むアジア圏に注目し、営業活動を展開している。中国・韓国での販売実績をもとに、今後はインターネット等も活用しアジア圏を中心に販売数を伸ばす計画だ。又、素材評価計測技術の多様なニーズに応える目的で、11年末に国内研究開発拠点として岡山研究開発センターも完成させた。今後ますますオリジナル試験機及び計測機器の開発を加速させていく。